



2021年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年3月5日

上場会社名 株式会社ハイレックスコーポレーション
 コード番号 7279 URL <http://www.hi-lex.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺浦 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループ担当執行役員 (氏名) 芦田 安功 TEL 0797-85-2500
 四半期報告書提出予定日 2021年3月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期第1四半期の連結業績(2020年11月1日～2021年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第1四半期	57,738	△2.8	2,047	20.0	2,775	42.1	1,832	158.4
2020年10月期第1四半期	59,371	△8.1	1,706	△15.3	1,953	△18.5	709	△48.5

(注) 包括利益 2021年10月期第1四半期 5,210百万円 (29.9%) 2020年10月期第1四半期 4,010百万円 (△850.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第1四半期	48.21	48.12
2020年10月期第1四半期	18.66	18.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年10月期第1四半期	248,391	176,988	65.0
2020年10月期	240,510	172,771	65.6

(参考) 自己資本 2021年10月期第1四半期 161,393百万円 2020年10月期 157,765百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	—	11.00	—	23.00	34.00
2021年10月期	—	—	—	—	—
2021年10月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年10月期の連結業績予想(2020年11月1日～2021年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	105,200	△1.3	2,600	101.9	3,600	118.3	1,900	325.5	49.97
通期	214,800	9.7	6,300	—	7,900	—	4,200	—	110.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
 新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年10月期1Q	38,216,759株	2020年10月期	38,216,759株
② 期末自己株式数	2021年10月期1Q	194,943株	2020年10月期	194,812株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年10月期1Q	38,021,884株	2020年10月期1Q	38,018,165株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米中間の通商問題を巡る緊張、中国経済の先行き不透明感、英国のEU離脱、中東地域を巡る情勢、金融資本市場の変動、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大等による影響に加え、世界全体での半導体の需給逼迫や原材料の不足といった新たな問題も発生しており、不透明な状況で推移いたしました。さらに、これらの状況が今後も継続することで、影響の長期化も懸念されます。

各地域別での世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大の影響により経済活動が停滞していましたが、各国の経済活動の再開や政府の経済支援施策等により緩やかな回復基調に移行しているものの、国内外における感染再拡大を受け、依然として先行き不透明な状況が続くことが懸念されます。米国では同感染症の感染拡大による影響は依然としてあるものの、持ち直しの動きがみられます。なお、政権交代により国際協調路線への復帰が期待されますが、米中関係の今後の動向には引き続き注視が必要であります。中国では世界に先駆け経済活動を再開し、政府の経済政策による景気下支え策等により景気は堅調に推移しております。アジアでは同感染症の世界的な拡大による市場低迷の影響により、新興国を中心に景気は当初見込みよりも低下しております。欧州では景気の持ち直しの動きがみられますが、変異ウイルスの感染再拡大によるロックダウンや非常事態宣言の発令など経済活動に与える影響によっては、景気が下振れするリスクがあります。

日本経済におきましては、同感染症の感染再拡大が深刻化しており、依然として先行き不透明感が高まっているものの、各種政策により社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、景気の持ち直しの動きが続くことが期待されます。

自動車業界におきましては、日本国内の自動車生産台数は前年同期比0.5%増の232万台となりました。海外では、米国の自動車生産台数は前年同期比0.6%増の256万台、中国の自動車生産台数は前年同期比8.8%増の823万台となりました。

このような状況のなか、当社グループでは、従業員および関係者の健康と安全を最優先事項とし、時差出勤やリモートワーク等の実施による同感染症防止策を徹底しつつ、生産性の向上や経費削減といった合理化による収益の確保に全社を挙げて努めてまいりました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、中国、アジアおよび欧州における主要顧客の自動車生産台数の増加はあったものの、主に北米地域および一部アジア地域での販売が伸び悩んだ影響から、売上高は577億3千8百万円（前年同期比16億3千3百万円減、2.8%減）となりました。

営業利益については、北米・欧州・南米地域では同感染症による影響を払拭するに至らなかったものの、日本・アジアでは原価低減と生産性向上および経費削減等による収益確保、中国では昨年度の同感染症の影響による販売減が回復基調となった影響により、20億4千7百万円（前年同期比3億4千万円増、20.0%増）となりました。

経常利益は、主に持分法による投資利益1億9千7百万円および受取配当金1億3千9百万円による収益を計上した一方で、前年同期は2億5百万円の為替差損が発生したことに対し、当第1四半期連結累計期間は4千1百万円の為替差益が発生した影響等により、27億7千5百万円（前年同期比8億2千2百万円増、42.1%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、補助金収入6千8百万円および貸倒引当金戻入額4千4百万円を特別利益に計上した一方で、固定資産圧縮損5千6百万円を特別損失に計上するとともに、前年同期は2億5千5百万円の製品保証引当金繰入額を特別損失に計上したことに対し、当第1四半期連結累計期間は新たな品質リスクが想定されないことにより、18億3千2百万円（前年同期比11億2千3百万円増、158.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ78億8千1百万円増加し、2,483億9千1百万円となりました。主として、有価証券が39億7千7百万円、投資有価証券が34億9千8百万円並びに原材料及び貯蔵品が10億9千8百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ36億6千4百万円増加し、714億3百万円となりました。主として、短期借入金金が23億7千2百万円、支払手形及び買掛金が14億6千9百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ42億1千7百万円増加し、1,769億8千8百万円となりました。主として、その他有価証券評価差額金が25億9千2百万円、利益剰余金が9億5千7百万円、非支配株主持分が5億8千9百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月期（2020年11月1日～2021年10月31日）の業績予想につきましては、2020年12月11日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,359	47,373
受取手形及び売掛金	35,227	35,945
電子記録債権	1,527	1,683
有価証券	3,642	7,620
商品及び製品	8,691	9,014
仕掛品	2,578	2,625
原材料及び貯蔵品	10,825	11,924
その他	5,067	5,464
貸倒引当金	△496	△538
流動資産合計	116,423	121,111
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,085	21,949
機械装置及び運搬具(純額)	21,086	21,052
工具、器具及び備品(純額)	2,559	2,687
土地	7,991	8,086
建設仮勘定	4,431	4,302
その他(純額)	2,349	2,302
有形固定資産合計	60,504	60,382
無形固定資産		
のれん	1,959	1,911
その他	2,332	2,324
無形固定資産合計	4,292	4,236
投資その他の資産		
投資有価証券	53,675	57,174
長期貸付金	43	35
退職給付に係る資産	435	435
繰延税金資産	1,633	1,494
その他	4,713	4,720
貸倒引当金	△1,214	△1,201
投資その他の資産合計	59,286	62,659
固定資産合計	124,083	127,277
繰延資産	3	2
資産合計	240,510	248,391

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,856	28,326
短期借入金	3,809	6,182
1年内返済予定の長期借入金	644	746
未払法人税等	801	889
賞与引当金	1,697	1,332
役員賞与引当金	17	10
製品保証引当金	2,976	2,149
その他	11,804	11,848
流動負債合計	48,608	51,485
固定負債		
長期借入金	2,799	2,674
繰延税金負債	11,695	13,108
退職給付に係る負債	2,167	2,241
その他	2,466	1,893
固定負債合計	19,130	19,917
負債合計	67,739	71,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,657	5,657
資本剰余金	7,343	7,343
利益剰余金	127,635	128,592
自己株式	△339	△339
株主資本合計	140,296	141,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,501	30,094
為替換算調整勘定	△9,595	△9,456
退職給付に係る調整累計額	△436	△497
その他の包括利益累計額合計	17,469	20,140
新株予約権	112	112
非支配株主持分	14,893	15,482
純資産合計	172,771	176,988
負債純資産合計	240,510	248,391

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)
売上高	59,371	57,738
売上原価	51,754	50,040
売上総利益	7,617	7,697
販売費及び一般管理費	5,910	5,650
営業利益	1,706	2,047
営業外収益		
受取利息	130	85
受取配当金	178	139
持分法による投資利益	—	197
為替差益	—	41
電力販売収益	13	12
その他	333	362
営業外収益合計	656	838
営業外費用		
支払利息	56	41
為替差損	205	—
持分法による投資損失	17	—
電力販売費用	9	8
その他	120	60
営業外費用合計	409	110
経常利益	1,953	2,775
特別利益		
固定資産売却益	0	26
貸倒引当金戻入額	—	44
補助金収入	—	68
特別利益合計	0	139
特別損失		
固定資産売却損	6	1
固定資産除却損	21	21
固定資産圧縮損	—	56
製品保証引当金繰入額	255	—
特別損失合計	283	78
税金等調整前四半期純利益	1,669	2,836
法人税、住民税及び事業税	570	146
法人税等調整額	80	422
法人税等合計	651	569
四半期純利益	1,018	2,266
非支配株主に帰属する四半期純利益	309	433
親会社株主に帰属する四半期純利益	709	1,832

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)
四半期純利益	1,018	2,266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	208	2,593
為替換算調整勘定	2,580	255
退職給付に係る調整額	27	△66
持分法適用会社に対する持分相当額	174	160
その他の包括利益合計	2,991	2,943
四半期包括利益	4,010	5,210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,314	4,503
非支配株主に係る四半期包括利益	695	706

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載しました新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。